

令和 年度 海外インターンシップ報告書

実習期間	令和6年 9月 4日(火) ~ 9月 7日(土) 4日間
実習企業	株式会社ユウワ
実習地	ベトナム

1. 実習目的

Chapter1 purpose

日本とベトナムに拠点を置く株式会社ユウワが主催する海外インターンシップへの参加を通して、国際的な視点を持ちこれからの日本の在り方について考えることを目的とする。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

株式会社ユウワをはじめとする日系企業の工場、観光地、学校、JETORO ベトナム支部、の訪問

3. 実習日程

Chapter3 schedule

9月4日

13:45 VN301 HCM 着
 15:00 空港ピックアップ
 16:00 Vitexco タワー(23時まで)
 18:00 サイゴン川クルーズ
 21:00 下船
 22:00 ベカメックスホテル



9月5日

8:00 ベカメックスホテル発
 8:30 YVL 会社案内、工場見学
 昼食 YVL 工場内
 13:30 FYMV 見学(名川社長)
 15:00 DVL 見学(武田社長)
 18:00 懇親会



9月6日

7:30 ベカメックスホテル発
 9:00 クチトンネル
 12:00 ホーチミン市内で昼食
 13:00 ジェトロホーチミン
 15:00 ヒューテック大学訪問
 17:00 買い物
 ホーチミン市内で夕食
 夕食後、空港へ移動



4. 実習内容

Chapter4 laboratory

実際に工場や施設を見学し、社長や社員の方から説明を受けたり質問したりすることで、海外進出する企業が何を考えているのかを深く考える。

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

チャレンジ精神が飛躍的に向上した。私自身もともと様々なことに挑戦するタイプではあった。しかし、現地に行って話しかけたり食べ物を食べたりすることで、今までは不安なことがあるとひるむことが多かったのが「とりあえずやってみよう」という気持ちが強く芽生えた。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

今回訪問したユウワのような世界トップの技術力を持つ会社は日本に多く存在する。しかもその技術をユウワベトナムのように国を跨いででも再現性を確保するノウハウがある企業もある。それがモノづくり大国日本の特徴である。しかし、時代の変化に対応していくには技術だけではなくてその技術をどのように使うかが大切である。そして今の日本に不足していることは、新しい時代の需要と日本のもつ高度な技術力の懸け橋になるような人材なのではないかと思う。もちろん今ある大企業は長年懸け橋となってきたわけであるが、革新的な成長産業が近年生まれていないことは別のアプローチが必要であることを意味しているように思う。そのため今の私の課題として英語はもちろんであるが、それ以上に時代が何を求めているのかを敏感に感じ取る力が必要であると感ずる。そして敏感に感じ取るには知識と経験が不可欠である。これからの大学生活で多くの知識を身に着け、多くの場所を訪れて、懸け橋となれるような人に成長したい。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

通常インターンシップは大学 3 年生や 4 年生が行くものだと思います。それに海外。色々不安はあると思いますが、その気持ちはチャンスです。一歩踏み出せば新しい世界が待っています。少しでも興味を持ったならば、参加するべきです！

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

株式会社ユウワ様、長野県庁の皆様、そして信州大学キャリア・教育サポートセンターの皆様、私自身至らないことも多々ありましたが多くのご支援とご協力いただきました。このインターンシップで学んだことを生かして、今後の学習に一層励んでまいります。ありがとうございました。